

5. 事業計画

1) 第Ⅰ期整備計画（目標年度 平成 25 年度～34 年度）

第Ⅰ期計画では、「近世城郭としての歴史的景観の保全と利活用の促進」を目標に、石垣修復をはじめとする城郭遺構の保存整備と、盛岡の象徴的なランドマークとして再生していくための基盤となる景観整備および環境整備，利便性を高めるための施設整備を推進する。（101 頁第 36 図参照）

また，将来的な整備事業の進捗を図るため，未確認の資料調査や遺構確認調査を実施する。

①城郭遺構の保存整備（38 頁第 21 図参照）

石垣については，石垣変位調査やカルテ作成，三次元測量等のモニタリングによる保存管理を第一義としつつ，石垣変位調査の結果，変位の累積が認められた三ノ丸南東（G）・北・西面（E・F）の石垣修復等の保存整備を行い，盛岡城跡の特色である高石垣の保存と，観光資源，災害時避難場所としての安全性の確保を行う。

また，雨水によると思われる孕みや緩みが見られる腰曲輪北東部石垣の修復も行うとともに，石垣に悪影響を与える樹木の伐採を行う。さらに，三ノ丸南東部不明門周辺の石垣復元を検討する。その他，別表のような整備を検討する。

②ランドマーク再生の基盤となる景観・環境整備

眺望を阻害している樹木の伐採を行い，石垣等城らしさを感じさせる遺構を内外から視認できるようにする。

また，三ノ丸北・北西・西面石垣整備と併せ，石垣下にあたる新御蔵周辺の樹木を間伐し，特徴的な高石垣をより際立たせるようにするとともに，入口広場としての園地整備を行う。

さらに，歴史的景観の阻害要因となっている電柱・電線の地中化を行う。

③利便性を高めるための施設等整備

盛岡城跡の総合的な情報提供と維持管理の拠点となる拠点施設の設置を検討する。その際，榊山稲荷曲輪下のトイレについては，拠点施設に機能を統合することも検討する。

その他，別表のような整備を検討すると共に，パンフレットの制作やサイン，園路の総合的な再整備，補修を行う。

④各種整備への準備～各種調査成果の充実

第Ⅰ期整備を実施するために必要な各種調査を行うと共に，盛岡のランドマークとして再生していく上で重要な建物等の復元整備に向けた調査研究を行う。

第 I 期整備計画期間における整備内容

城郭遺構の保存整備等	<ul style="list-style-type: none"> i) 三ノ丸石垣（南東・北・西面）の修理 ii) 腰曲輪北東部石垣の修理 ii) 石垣整備に影響を与える樹木の伐採・撤去 iii) 榊山稻荷曲輪石段の修理 iv) 彦御蔵の整備 v) 御台所門枳形の表示，台所西側斜面の保全 vi) 三ノ丸南東部不明門周辺の石垣復元 vii) 坂下門の遺構表示改修
景観・環境整備	<ul style="list-style-type: none"> i) 新御蔵周辺地区の環境整備 i) 内外からの眺望を阻害している樹木の伐採等 ii) 藩政時代から生育している古木の保護 iii) 明治期の公園整備の際に植栽された樹木の保護 iv) 鶴ヶ池の浚渫または池干し，水質浄化 iv) 電柱地中化
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> i) 榊山稻荷曲輪下のトイレの撤去 ii) 四阿の修復 iii) 鉄柵の改修（素材の変更，塗装の更新） iv) 台所トイレの移転，改修 v) サインの整理，仕様統一 vi) イベント時機材搬入用動線の整備 vii) 拠点施設の設置 viii) 主要園路の整備
整備のための調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> i) 石垣の現況調査（立面図・断面図及び損傷状況の図化等） ii) 本丸御殿，二ノ丸，三ノ丸，穴門周辺，吹上門周辺，榊山稻荷曲輪，二ノ丸・三ノ丸下部等の発掘調査 iii) 石垣や景観に影響を与えている樹木の調査 iv) 未確認の絵図・写真等の所在，内容調査

第 I 期整備計画スケジュール

	事業内容等	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
石垣修理等	①石垣カルテ作成等	●			
	②三ノ丸北・西部修復等 (約 1,000 m ²)	◆確認調査 ◆地質調査 ◆基本設計	◆確認調査 ◆測量	◆実施設計 ◆造成工事等	◆工事
	③三ノ丸南東部修復 (約 50 m ²)		◆確認調査	◆実施設計 ◆工事	
	④三ノ丸不明門石垣復元		◆確認調査 ◆測量	◆実施設計 ◆工事	
	⑤腰曲輪北東部修復 (約 70 m ²)				◆確認調査 ◆測量
遺構整備	①台所枳形形状表示				
	②台所西側法面地形保全				
	③内堀浚渫・池干し等				
	④榊山稻荷曲輪石段修理				
	⑤坂下門遺構表示改修				
利活用・便益施設等整備	①パンフレット等制作			◆パンフレット制作	
	②彦御蔵整備				
	③電線地中化		◆調査・基本設計	◆実施設計	◆工事
	④トイレ移転				
	⑤主要園路・サイン整備		◆基本設計	◆実施設計・工事	
	⑥動線整備 (車両用)			◆実施設計 ◆工事	
	⑦四阿改修				
	⑧鉄柵改修				
	⑨藤棚改修				
発掘調査等	①本丸御殿確認				
	②二ノ丸石土居跡確認				
	③二ノ丸大書院跡確認				
	④吹上門及び周辺確認				
	⑤聖長楼跡確認				
	⑥文献等資料調査	●			
管理	○植栽維持管理・伐採等	●			

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
					●
◆実施設計・工事					
◆発掘調査	◆基本設計	◆実施設計・工事			
◆発掘調査	◆基本設計	◆実施設計・工事			
	◆基本設計		◆実施設計・工事		
		◆基本設計	◆実施設計・工事		
		◆基本設計	◆実施設計・工事		
		◆調査・基本設計	◆実施設計・工事		
◆基本設計	◆実施設計・工事				
				◆実施設計	◆工事

2) 第Ⅱ期整備計画（目標年度 平成 35 年度～平成 44 年度）

第Ⅱ期計画では、「盛岡の象徴的なランドマークの再生」を目標に、建物復元をはじめとした主要遺構の整備を行うとともに、整備のための調査・研究を継続して取り組む。（102 頁第 38 図参照）

城郭遺構の復元整備等	<ul style="list-style-type: none"> i) 本丸二階櫓の復元 ii) 本丸南側石垣中央の石段撤去および石垣の修理 iii) 二ノ丸大書院跡の地形復元 iv) 廊下橋、百足橋の復元的整備 v) 吹上門枳形の復元 vi) 本丸東辺・南辺、吹上門周辺の土塀復元 vii) 二ノ丸石土居の復元 viii) 鳩門枳形および土塁の復元 ix) 米内蔵門枳形および土塁の復元 x) 穴門虎口石垣の復元 xi) 石垣の修復
公園施設の整備・修復	<ul style="list-style-type: none"> i) 遺構整備に伴う園路の再設置 ii) 遺構整備に伴う曲輪内の樹木の伐採（二ノ丸大書院跡等） iii) 遺構整備に伴う石碑等の移設

3) 概算事業費

・ 第Ⅰ期整備計画期間	800,000千円
・ 第Ⅱ期整備計画期間	1,200,000千円
合計	2,000,000千円

4) 長期整備計画

第Ⅰ・Ⅱ期整備計画期間内では対応の難しい各種の整備を行い、盛岡城跡の象徴性をさらに高めていく。（103 頁第 39 図参照）

城郭遺構の復元整備等	<ul style="list-style-type: none"> i) 三重櫓の復元 ii) 石垣の修復
景観・環境整備	<ul style="list-style-type: none"> i) 鶴ヶ池の連続性の再現

5) 事業手法

盛岡城跡を構成する遺構（石垣・堀・土塁・建築物・地形等）の保存整備や都市公園の利活用に関する施設等の整備のほか、継続的に実施する必要がある史跡の維持・管理に必要な整備について、関係省庁（文化庁・国土交通省）の支援を受けながら事業の進捗を図るものとする。

中・長期的な事業についても、関係省庁と協議をおこないながら、支援を受けつつ事業の進捗を図ることができるよう検討するものとする。



第 37 図 盛岡城跡整備計画平面図（第 I 期整備） ※主要整備内容のみ標記



第 38 図 盛岡城跡整備計画平面図（第Ⅱ期整備） ※主要整備内容のみ標記



第 39 図 盛岡城跡整備計画平面図（長期期整備） ※検討事項を標記